

都立栢島高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科： 芸術 科目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組  
 教科担当者： (1～7組：栗原智美)  
 使用教科書： ( 高校生の美術Ⅱ )

教科 芸術 の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよう

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して感性を高め、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めること。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表すこと。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生かし発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすること。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとすること。多角的な視点を持ち、対象を観察する術を身に付けようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当 時数
		絵・彫	写	映					
A 題材 表現デザイン(絵画の世界を創造しよう) 【知識及び技能】 絵の具を用いて、自分がイメージしたモチーフや風景を表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 選んだ絵画の中にあるモチーフや風景からイメージを広げて、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 自分なりの世界をイメージして、デザインや文章で表現しようとする。	・指導事項 自分なりにイメージした世界を絵の具を用いた表現技法について ・教材 教科書、画用紙、絵の具、一人1台端末等	○		○	【知】 絵の具をはみ出したり、ムラを少なくして描くことができる。 【思】 選んだ絵画にあるモチーフや風景から自分なりのイメージを広げて、描画することができる。 【学】 絵画表現のイメージを広げようとする作品制作及び鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
A 題材 表現 デザイン(アクリル絵の具を用いたポスターの制作) 【知識及び技能】 ポスターの持つ情報伝達機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化祭というキーワードからイメージを広げ、表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭のテーマに対して自ら進んで考えを深め、表現しようとする。	・指導事項 ポスターデザインにおける構図の効果について、アクリル絵の具を用いた表現技法について ・教材 教科書、配布プリント、アクリル絵具、筆記用具、イラストレーションボード、一人1台端末の活用 等	○		○	【知】 アクリル絵の具を用いて作品を制作することができる。 【思】 共通したテーマに対して自分自身の考えを持ちながら表現形式の特性を生かし、色彩、構成などについて考え、表現の構想を練っている。 【学】 主体的にポスター制作における表現及び鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
A 題材 映像メディア表現 (栢島高校のPR動画) 【知識及び技能】 自校の良さを映像作品にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自校の思い出の場所や写真を選び取り、映像や写真を構成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料や材料を多く集め、規定の動画の長さで制作することができる。	・指導事項 学校の資料や材料を多く集め、文字や音楽を使って構成する方法について ・教材 教科書、一人1台端末の活用 等			○	【知】 タブレットのアプリを使用して、集めた動画や画像をまとめることができる。 【思】 自校の思い出の場所や写真を選び取り、映像や写真を構成することができる。 【学】 資料や材料を多く集め、規定の動画の長さで制作することができる。	○	○	○	8
A 題材 表現 彫刻(修学旅行の思い出をつむかたち) 【知識及び技能】 1年時に身に付けた彫刻の技法を応用して、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 修学旅行で行く場所のイメージから、デザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 修学旅行先についての情報を収集して、自分の表現に生かそうとする。	・指導事項 修学旅行先由来するモチーフを調べて、木彫を用いた造形方法について ・教材 教科書、配布プリント、額縁、彫刻刀、一人1台端末 等	○		○	【知】 木彫の技法について理解し、完成イメージを基に制作することができる。 【思】 修学旅行にあるモチーフを選んで、額縁のふちをデザイン構成することができる。 【学】 修学旅行先についての情報を収集して、自分の表現に生かそうとしている。	○	○	○	24
A 題材 表現 粘土(耐水粘土で入れ物づくり) 【知識及び技能】 粘土の特性を理解して、形を表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 粘土の可塑性や色味のバランスを考えて制作することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘土を練ったり、くっつけたりして、表現の幅を広げようとしている。	・指導事項 粘土の装飾のつけ方や乾燥具合について ・教材 教科書、耐水性粘土、ヘラ、一人1台端末 等			○	【知】 粘土の特性について理解し、装飾のつけ方や乾燥に気を付けながら制作することができる。 【思】 違う粘土の色同士を組み合わせたり、装飾をつけたりと、自分なりのイメージを形にすることができる。 【学】 粘土を使った表現の幅を広げながら、作品制作及び鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
A 題材 表現 共同制作(協力して一つの作品を生み出す) 【知識及び技能】 使用する教材を適切に扱うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 全体のバランスを考えながら、色みや構成を考えて制作することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 友達と協力して、制作することができる。	・指導事項 全体のバランスを確認しながら、制作を進めることについて ・教材 教科書、画用紙、絵の具 等			○	【知】 完成のイメージから、使用する教材を適切に使用することができる。 【思】 全体のバランスを見ながら、色みや構成を考えて制作することができる。 【学】 友達と協力して、声を掛け合いながら制作することができる。	○	○	○	4
									合計
									70